

「道内の感染状況等について（道案）」に対する主な意見

有識者・専門家の意見

- 1 道案に異論なし。
今回の感染は、小中学校での児童・生徒の感染からその家族への感染に広がっていることが多いようにみられる。今までの学校での感染防止対策では、限界にきているように思えるので、5歳から11歳以下の小児用ワクチン接種の早期実現を求める。
- 2 高齢者の感染が増えてきており、入院調整に時間がかかってきている。クラスターの発生により、一度に病院自体が機能しなくなることも予想される。診療体制の維持に気を配っていただきたい。
- 3 オミクロンによる感染拡大のスピードが加速する中で、道による無料検査をはじめ、自主検査を拡大することは重要と考える。クラスターの発生等により地域医療が崩壊することのないよう、検査キットのスムーズな流通・配布を国に強く求めるとともに、保有数に偏りが生じることのないよう、地域単位で調整を行うことなどについても検討願いたい。
- 4 札幌市と協力して、ワクチン接種の更なる加速をお願いする。
- 5 道案に異論なし。
ワクチン接種の予約状況から判断し、積極的に前倒しを行い、効率よく接種を進めていただきたい。感染拡大が続き、未だピークアウトの兆しも見えない中、濃厚接触者以外の検査体制を確保し、社会活動を円滑に進める上で重要な部分と考えるので、抗原検査キットの安定供給に注力願いたい。